

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4 年 1 月 18 日

公表: 令和 4 年 2 月 15 日

事業所名 児童発達支援重症心身障がい児 プレーメン一宮

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	基準を満たしています	バギー利用児のスペース確保など安全面に考慮しながら改善していきます。
	2	職員の配置数は適切である	8	0	基準を満たしています	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1	バリアフリーになっています。シンプルで過ごしやすい空間作りを心掛けています。ゲートや柱等角にクッションを付け安全対策をしています。	トイレ空間は広さに難あり。トイレの補助椅子など今後考えていく必要があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	清掃項目を挙げ、毎日チェックすることで常に清潔な状態を維持できています。日々の環境整備は落ちがちなよう計画されており徹底しています。	今後も継続して利用児童が清潔で心地よく過ごせる空間づくりを心掛けていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	職員会議、活動会議、スタッフ面談を定期的に行い業務改善に努めています。毎日サービス提供開始前にミーティングを実施し、最近の様子や支援方法について確認しています。	今後はスタッフの一人ひとりの目標設定や振り返りの機会を増やしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	HPにて評価結果を公開し、参考にしながら面談等で保護者やお子さまの意向を把握するように努め事業所全体で情報を共有し改善につなげていけるよう努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	事業所全体の自己評価討議会を開き、改善内容などHPにて評価結果を公開しています。結果を踏まえSNSを通じて日常の支援活動の様子を公開し、改善に努めています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	6		第三者による外部評価は受けていませんが、今後もアンケート調査や相談・ご要望をいただきながら業務改善につなげていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	コロナ禍で外部研修はできていない状況だが、毎月社内研修を行い全職員で支援の質の向上を目指しています。	今後も社内研修の機会を増やしていきます。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	1	定期的モニタリングを行い、保護者の方のニーズや子どもたちの発達状況を把握し了上で作成しています。見学体験・面談後職員を交えてアセスメントシートや面談内容を確認し、支援計画会議を行ってよりよい計画を作成しています。	今後も継続して児童や保護者のニーズに寄り添いながら支援方法の提案をし児童発達支援計画を作成していきます。
11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	アセスメントシートを使用し子どもの状況を把握しております。アセスメントシートを使用し面談時には項目に沿って聞き取りをしています。	スタッフ間でもしっかりとアセスメントの概要を共有して行くようにします。	
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	子どもたちの発達状況・特性を理解し保護者の思いも受け止め、医療機関等との連携、情報共有を行った上でその時に何が必要とされているのかを適切に見極め支援内容を設定しています。		
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	支援計画・モニタリング会議を行い、職員間で共有して支援にあたっています。	支援内容に変更が生じた場合は支援計画の変更を行うなど、今後も適切な支援計画を立てていきます。	
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	保育士が中心となり会議で活動内容の話をしています。		

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	子どもたちの発達状況・特性を踏まえ、四季を感じられる活動内容になるよう日々工夫しています。年齢・興味の有無、経験、未経験得意苦手などお子様の状況に配慮し活動の内容や段階を設定工夫し取り組みを進めています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7	0	子どもたちの発達状況・特性、ニーズを考慮した内容で作成しています。お子さまやご家族のニーズや課題、要望を聞き取り支援計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	毎日の朝礼の時に役割分担、活動内容、看護師による子どもたちの体調面の申し送りを確認したうえで支援にあたっています。	今後もホワイトボードを活用し役割分担を視覚化し、偏りのないようにし、職員間で改善点など業務改善につながる話し合を重ね、より良いサービスが提供できるようにしていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	毎日の終礼の時に、気付きや振り返りを行い次へ活かせるよう情報共有を行っています。配置・送迎確認を行っています。その日のうちに職員全員で支援方法や工夫ポイント、配慮すべきポイントなど次回ご利用に向けてミーティングや記録をしています。	継続してその日の気付きや振り返りや保護者との送迎時のやり取りなどを共有していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	業務日誌やヒヤリハット、連絡帳などを記入し支援の改善に努めています。日誌に記録して職員同士で内容を確認し、次回のご利用に向けての改善につなげています。児童一人ひとりの気付きをノートに具体的に記入し、チームで細部まで情報共有しています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	モニタリング会議、保護者の方との定期的なモニタリングを実施し、支援計画見直しの必要性を判断しています。設定したモニタリング予定月にモニタリングを行い、モニタリング表に記録し支援計画見直しの必要性を判断しています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	相談事業所や他の事業所・医療機関等と連携し支援にあたっています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	1	地域の子育て環境や支援体制の構図を図るため、保育課や福祉課等と情報を共有しています。重症心身障がい児に対する児童発達支援事業所の役割、理解の広がりや連携体制の構築に努めています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	0	医療的ケアが必要な児童には主治医と連携を取り、指示書や医療的ケア判定スコアの提供を受けています。協力医療機関から毎月一度嘱託医による住診を実施し、アドバイスを受けています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	特別支援学校幼稚部とは児童のその日の様子、成長発達の気付きを共有し、支援のアドバイスを受け、相互理解に努めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	6		移行支援については今後必要な時に慎重に検討していきます
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	5	コロナ禍で直接会う機会は難しいが、電話やメールなどを利用して情報交換や連携に努めています。	外部研修は今後もしばらくは受けられなさそうだが、違う形で研修や助言を受けられるよう考えていきたいです。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6	感染症対策のため交流の機会は設けていません。	現在のところは交流はないものの、感染症の動向を見て今後交流も考えていきたいです。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	5	年に4回の処遇検討会に参加し、地域の子どもたちの近況について検討し、各機関との相互理解を図っています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎の際や連絡帳などを通して日々の様子や発達状況を伝え合い共有できるようにしています。送迎時や連絡帳にてお知らせしたりご家族の思いなどを確認するようにしています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	5	講習会は行っていないが、面談や連絡帳などを通して子どもたちの発達相談・支援に努めています。	今後は感染症対策を徹底した上で(リモートを含)講習会等行えるように考えていきたいです。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2	契約時に重要事項説明書を説明している。児童発達支援管理責任者により丁寧な説明が行われています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	児童の成長発達段階に合った支援内容を保育士・児童指導員・看護師の専門性を組み合わせ、一つ一つの項目について説明をしながら同意を得るようにしています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	定期的なモニタリング、必要に応じて面談を行い、日々の様子等も連絡帳や送迎時にお話することで不安の軽減に努めています。	今後も保護者の希望や親子の様子を踏まえながら話し合う時間を調整し、一緒に考えていけるようにしていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7	感染症対策の為現在は保護者同士の交流会は行っていません。	コロナ禍でできていないが、ご要望があれば感染症対策等をしっかりとしたうえで、保護者同士の関わりや交流を持てる機会を設定していきたいです。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	相談や申し入れがあった際は窓口担当が迅速に対応し、重要事項説明書にも市町村の相談窓口の記載をし、案内しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	療育活動については利用予定表に記載し、活動状況はSNSや公式ラインを通して発信しています。	今後も保護者の方のニーズに応えられるよう内容改善・工夫をしています。

38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	契約時に個人情報の取り扱い方について説明し、同意をいただいています。 保護者等へは個人情報の取り扱いについて必要最低範囲内での使用の同意をいただいています。	職員についても研修にて守秘義務の周知を継続して徹底していきます。
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	子どもたちの発達状況や特性を理解した上で十分な配慮をしています。	障がいや年齢等に配慮し誤解がないよう意思疎通や情報伝達ができるよう努めています。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	感染症対策の為現在は交流会は積極的に行っておりません。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	各種マニュアルを策定し、研修を通して職員へは周知を図っています。訓練も行っています。	保護者の方へも周知を図っていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	実際に広域避難所へ歩いてみて、道中の様子や時間を計り記録を取っています。	今後も定期的に非常災害に備えていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	看護師によるヒアリングを定期的に行い職員間でも共有しています。	囑託医とも共有しながら今後もしっかりと状況把握に努めていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	緊急時に投与薬が必要な方には指示書を提出してもらい、それに基づいた対応をしています。預かっている投与薬は保存方法を厳守しております。アレルギーのある児童のアレルギー物資を一覧にし全職員が支援中に常に確認できるようにしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	職員会議で事例を共有して改善に努めています。都度記録し事業所内で共有するように努めています。	小さな日々のヒヤリハット等も報告し、支援に生かされるようにしていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	社内研修を行っています。家庭での様子や職員の対応などを把握することで早期発見や防止に努めています。	今後も継続して職員研修を行い、家庭との連携、児童の体調・成長発達の情報共有をしていくことで虐待の防止、早期発見に努めていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	重要事項説明書や身体拘束についての指針を契約時に説明しています。ざり落ち防止ベルト等の使用については再度保護者へ安全面の説明をして、重ねて支援計画への記載をしています。	今後も継続して職員研修を行い、身体拘束についての知識や認識の向上を図っていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4 年 2 月 15 日

アンケート期間:令和 3 年 12 月 13日～令和 3 年 12 月 29日

事業所名 児童発達支援重症心身障がい プレメシー宮 保護者等数(児童数)10

回収数 10 割合 100 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	2	0	0		法令で定められた基準を満たしています。ご利用人数や活動状況などを考慮し、室内空間の有効活用を考えていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1	0	0		配置基準は満たしています。専門性に関しては有資格者であり職務遂行に十分な経験のある職員が所属しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	0	0	1		バリアフリーになっています。床面にはジョイントマットを使用し、柱など角が気になる所にはガードクッションもしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	0	0		毎日清掃点検表を付け常に清潔な状態を保てるようにしています。玩具やマット等は使用後に消毒を行っています。またゲートも設置し死角へ子どもたちが侵入してしまわないようにしています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10	0	0	0		定期的なモニタリングと必要に応じて面談を実施し、その内容をもとに支援計画会議を行い支援計画を作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	0	0	0		子どもの発達の理解、特性に応じた対応、家族の思いを考慮し、医療機関や他の事業所などと連携をした上で何が今一番必要なのか支援系内容を考え、設定しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	1		支援計画会議や職員会議、日々の意見交換など、常に情報共有を心掛け、支援にあたっています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	0	0	1		保育士を中心に定期的な活動会議を行い、マンネリ化しないよう、子どもたちの特性を踏まえた上で活動プログラムを設定し、実行しています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	5	3		現在感染症対策もあり積極的な交流は実施しておりません。今後は世間の動向をみながら少しずつ慎重に交流の機会も出たらと考えています。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	0	0	0		ご契約時に重要事項説明書を説明し、随時必要に応じて質問等に答えられるようにしています。	

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	10	0	0	0	モニタリングの内容、子どもたちの発達状況や特性を考慮して作成した支援計画書を提示しながら保護者の方に説明をし同意をいただいています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8	1	0	1	感染症対策もあり母親教室や講習会等は行っていません。個別に話す機会を設けたり連絡帳を通して子どもたちの発達相談・支援等に努めています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	0	0	0	送迎の際や連絡帳、電話を通して子どもたちの発達相談・支援にあたっています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	0	0	0	定期的なモニタリングと必要に応じて面談を実施したり、連絡帳や電話を通して子どもたちの発達相談・支援にあたっています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	0	6	2	感染症対策もあり母親教室や保護者会等は行っていません。今後は世間の動向を見て慎重に検討していきたいと思っています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	0	0	0	相談等あれば迅速に対応しています。また重要事項説明書に事業所内の相談窓口、市区町村の相談窓口も記載し説明しています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	0	0	0	子どもたちの成長発達、特性を考慮し、プライバシーにも配慮した上で意思の疎通や情報伝達に努めています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	0	0	1	ホームページに令和3年度の自己評価結果を公表しております。
非常時等の対応	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10	0	0	0	保護者の方には個人情報の取り扱い、写真の掲載などご契約時に同意をいただいています。職員にも取り扱いには配慮するよう指導しています。
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	6	0	0	4	緊急時対応では事業者内、送迎時と想定したマニュアルを用意しています。感染症対策についてはその都度手紙を配布し対策内容をお知らせしています。防犯訓練は年に2回実施しております。
満足度	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	0	5	年に2回避難訓練（地震・火災）を行い、記録を残しています。
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	10	0	0	0	事業所で楽しく穏やかな時間が過ごせるよう、活動内容を工夫したり引き続き安全に配慮していきたいと思っています。
	23	事業所の支援に満足しているか	9	1	0	0	今後も皆様に満足していただけるよう職員研修や活動内容を充実させていきたいと思っています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。